

第5回美浜区地域福祉計画策定委員会議事要旨

日 時：平成17年10月22日（土） 午前10：00～12：00

場 所：美浜区役所3 3会議室

出席委員：幸町地区 桑原啓輔・鈴木幽香子・江本素子 真砂・磯辺地区 飯野勝衛・北昌司
稲毛海岸・高洲・高浜地区 小椋政子・安保祐幸・植原二三恵
幕張西地区 角幡玲子・相澤富代・畑佐健二郎 幸二中 平野茂樹

事務局：保健福祉総務課 高須、美浜区介護保険課 今泉、美浜区福祉サービス課 翠川

議事

議題（1）区地域福祉計画素案について

（飯野委員） 今後の取組については、39項目あるので一覧を掲載してはどうか、また、同じような内容のものがいくつかあるように思えるので、もう少し同じ内容ごとにまとめたらどうか。内容が同じものは、構成は変えなくてもよいが、基本方針1～4を通して、ある項目は1へ、ある項目は4へ、などまとめてくっつけ、どちらかで強調するようにしたらよいと思う。精神論のような希望的な意見・内容はなるべく除き、どうしたら実現するか具体策を書く必要があるのではないかと。

自ら有志を募り募金などを元に送迎ボランティアを行っているが、事故時などに対応した保険がないので責任が不明確になることが問題となっている。保険を掛ける資金力もないので、行政からの助成などがあつたら助かる。ボランティア保険は社協でやってほしい。

横浜市の青葉区では会員制にして、会員のみ送迎を行っている。

（北委員長） 具体策については、推進協議会への宿題とすることでよい。

（桑原委員） 八千代市高根台の「助け合いの会」で行っていた送迎ボランティアは、やはり車の送迎時に責任問題があり、やめることになったと聞いた。

（北委員長） コミュニティビジネスの扱いについて意見あるか。

（相澤委員） 地域で既に地域福祉計画のようなことを実践しているコミュニティービジネスを応援することが基本ではないか。コミュニティービジネスとのコラボレーションを計画に位置づけてよいと思う。

「NPO法人ちば地域再生リサーチ」を紹介するだけでは、計画としては淋しいのではないかと。推進協議会の一員として中に入れてもらいたいが、これから立ち上げる推進協議会で何をやるかわからないうちは、「ちば地域再生リサーチ」は入るかどうかは決められないだろう。中に入らなければ地域福祉計画が応援する形になるかどうか、話し合いによるだろう。

安保委員提唱の「あんしん支え合いネット」とのコラボレーションは有効なのではないかと思う。

（北委員長） 「ちば地域再生リサーチ」の意思を確認して、協力していくことにしたい。

議題（2）区地域福祉計画素案について

美浜区の独自性、住民自身が主体であること、言葉の語呂、等を考慮して、案1をアレンジし、「みんなが主役！こころ豊かな美浜（まち）づくり」に決定。

議題（3）区地域福祉計画推進協議会の役割とあり方、人選について

（相澤委員） 計画策定が、当初の予定どおり（優先順位や緊急性を考慮して計画策定）ではない。策定委員会の続きを担当する委員会のようなものが必要。客観的な立場の人が入るのがよい。

計画部門と実行部門を分けてはどうか。

(北委員長)この策定委員会のメンバーがそのまま入り、商店街の人などに加わってもらうのもよい。

(高須)プロジェクトが実行部隊、推進協議会は情報や調整を担当するマネジメント機能を想定している。

(鈴木委員) 力があって動ける人、声をかければ周りが動いてくれる人がいないと机上の空論になる。各団体から来ている人も団体内の位置によって違ってくる。

(小椋副委員長) 地域の実情がまったくわからない人でも困る。地域に密着している人がいい。

(桑原委員) マネジメント機能まで必要か。各地区の性格があるので、ひとつの意志でまとめるのは難しい。各事業のマネジメントは必要だが、協議会は調整、コーディネート機能でよいと思う。

(鈴木委員) 今までと別の角度から要求していけるだけの力のある人、区全体を見て提案したり、推進に向けた発言ができる人が必要。

(飯野委員) 推進協議会は、マネジメントではなく、各地区自身のマネジメントのサポートや調整をし、市や教委(空き教室を使わせてほしい、など)と交渉するような役目がいい。

(北委員長) 地区フォーラムは今後どうするか。「幕張西ミニ協議会」というようなものを作るか。

(角幡委員) 幕張西と打瀬は性格が違いすぎるので、もっと小さい単位で各地に作り、推進協議会で取りまとめる形ではどうか。

(相澤委員) 幕張西地区だけではできないこともあると思うので、分けずに推進協議会でサポートしていく形がいい。今度の計画で実現すれば、地区も変わるかもしれない。

(北委員長) 推進協議会はコーディネートや政策的協議、地区フォーラムは懇談会のようなものとしてもいいが地区に残し、実行部隊としてプロジェクトは別に作っていくという形ではどうか。

(相澤委員) 地区フォーラムは、計画と実際が違うときの検証の機能を持たせてはどうか。

(小椋副委員長) 各フォーラム委員は、地区フォーラムは終わったと思っている。

(相澤委員) プロジェクトの状況を伝えるすべが他にあれば、残す必要はないのではないか。

(北委員長) 推進協議会は星雲のようなイメージか。プロジェクトや地区を包含して、必要に応じて行政や社協と調整機能をはたし、新しく協議会に入ってきた人を育てていく、というような。

(相澤委員) 今の策定委員がとりあえず残り、各団体の事情によりメンバーの交代や、公募も検討する。任期も決める、という形がいいのではないか。

(安保委員) 推進協議会の下に、社協、自治会、民生委員等団体の代表者、プロジェクト、基本方針1～4の各委員会、NPO等が並列で組織されるのがいいのではないか。

(結論) 推進協議会の役割とあり方、人選については継続案件として、次回再び議論する。パブリックコメントには現状の計画素案を出す。

議題(4)プロジェクトの進捗状況については、時間の都合により割愛。

次回の区策定委員会は11月12日(土)午前10時～12時、美浜区役所3-3にて開催予定